情報公開文書　（単施設用）

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術後の病理学的および機能的アウトカムにおける網羅的観察研究
研究期間	倫理委員会・学長承認日　～2027 年 12 月 31 日
研究の対象	2014 年 1 月以降、当院で前立腺癌に対してロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を施行した患者さん
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：手術時年齢、術前評価項目（病歴、PSA 値、前立腺生検結果、術前 CT/MRI 所見、術前ホルモン治療の有無とその内容）、周術期内容（手術内容：神経温存の有無、リンパ節郭清の有無、再建方法の内容、術中および術後合併症、術後尿失禁の程度）、術後再発とその期間、術後後療法の有無とその内容、術後長期の尿失禁の程度、術後長期における合併症、生存期間等） □手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　　） □血液 □その他（）
研究の意義、目的	私たちは 2014 年から前立腺癌の患者さんに対してロボットを使用した前立腺全摘出術（ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘出：RALP）を施行しています。年月が経過するにつれて医療者の間でも RALP に関する技術や手術前後の治療方針の変遷も認められます。われわれの責務として、その都度行ってきた手術を含めた診療がどのような成果を出せているのかを確認し、そしてその後の診療に役立てなければなりません。いままでに当院で RALP を受けられた患者さんを対象に手術後のアウトカム（成果）をいろいろな観点から分析することが目的です。
研究の方法	2014 年から当院で RALP を受けられた患者さんを対象としています。新たに取得する情報はなく、研究を行う時点ですでに存在する診療録を見直すことで研究を行います。具体的には癌の再発や術後に追加治療を行っているかといった前立腺癌に関する事項を調査します。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。本研究で得た各個人情報は研究の目的以外で使用することはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番　旭川医科大学 腎泌尿器外科　　TEL：0166-68-2533 研究責任者：腎泌尿器外科・講師　　和田　直樹